「大阪府の水環境」に関するアンケート　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

大阪府の常時監視データにおいては、河川の水質は長期的に改善傾向にある。これは長年にわたって進めてきた下水道や浄化槽の整備、河川浄化事業、生活排水対策の啓発活動、工場・事業場における汚濁負荷削減の取組等の効果によるものと考えられる。

さらなる改善には、身近な水環境に親しみ、生活排水対策や河川清掃へ参加するなど府民の行動が必要であることから、府民の河川に関する意識についてアンケートを実施し、府民への効果的な啓蒙活動に役立てることを目的として本調査を実施する。

1. 調査仮説

仮説１　AA,A類型の河川を普段の生活において見かける人は、C,D,E類型の河川を普段の生活において見かける人よりも、その河川についてきれいだと思っている割合が高い。

※河川は水質検査により水質が良い順にAAからEまでに類型指定されている。

仮説２　普段の生活において見かける河川について、きれいだと思っている人と、きたないと思っている人では、河川に関する行動や意識に差がある。

1. 調査対象

指定したAA,A類型の河川を普段の生活において見かけると答えた府民500サンプル、指定したC,D,E類型の河川を普段の生活において見かけると答えた府民500サンプル　計1,000サンプル。

1. 質問項目

予備質問　６問

ＳＣ１　年齢（Ｎ）

ＳＣ２　性別（ＳＡ）

ＳＣ３　都道府県（ＳＡ）

ＳＣ４　市町村（ＳＡ）

ＳＣ５　【SC4　大阪市、堺市】区（ＳＡ）

ＳＣ６　普段の生活において見かける河川（SＡ）

本質問　１４問

Ｑ１　ＳＣ６で選択した河川について、きれいだと思うか（ＳＡ）

Ｑ２　ＳＣ６で選択した河川について、きれいかどうかを判断するポイント（ＭＡ）

Ｑ３　ＳＣ６で選択した河川について、どの程度関わりがあるか（ＳＡ）

　　Ｑ４　ＳＣ６で選択した河川や河川周辺の空間は、どのような存在か。（ＭＡ）

Ｑ５　この３年以内に河川の水に触れ合うことがあったか（ＳＡ）

Ｑ６　【Ｑ４　ある】触れ合ったのは大阪府内か府外か（ＳＡ）

Ｑ７　【Ｑ５　府外】府外で触れ合った理由（ＭＡ）

Ｑ８　河川の清掃ボランティアの経験の有無（ＳＡ）

Ｑ９　【Q8　ある】参加しようと思ったきっかけはなにか（MA）

Ｑ１０　河川をきれいに保つ行動をしているか（ＭＡ）

Ｑ１１　河川の水質を毎年調査していることを知っていたか（ＳＡ）

Ｑ１２　調査結果のＨＰを見たことがあるか（ＳＡ）

Ｑ１３　大阪府の河川の水質が向上していることを知っているか（ＳＡ）

Ｑ１４　河川のどのような情報が欲しいとおもうか（ＭＡ）

1. 検証方法

　仮説１　ＳＣ６×Ｑ１

　仮説２　Ｑ１×Q3、Q4、Q5、Ｑ８、Q10